

# 茨城学園だより

〒310-0111  
茨城県那珂市後台  
1484-1

TEL 029-298-1555  
FAX 029-295-7087



## 体育祭 2023

指導第二課 加藤 俊

今年度は「Never give up! We can do it!

燃やせ僕らの茨学魂！」をスローガンに掲げ、九月十日に体育祭を開催いたしました。新型コロナナウィルスに対する規制緩和に伴い、今年度の体育祭では保護者の皆様だけでなく、那珂市市長の先崎光様をはじめ日頃からお世話になっている児童相談所や更生保護女性会といった関係機関の皆さまや前籍校の先生方、地域の皆さまを四年ぶりにご招待させていただき、百名以上の方々にも子どもたちの頑張りをお見せすることが出来ました。

鼓笛発表は夏休み中から、競技や開閉会式は夏休み明けから分教室の先生方の熱心なご指導を頂き、子ども達は疲れてヘトヘトになりながらも最後まで諦めずに日々の練習を積み重ねていきました。

台風十三号の接近により開催が危ぶまれていましたが、子どもたちの頑張りや願いが空へ届いたのか台風の進路が逸れ、当日は快晴に恵まれた中で無事に体育祭を開催することが出来ました。

徒競走や障害物競走といった個人競技や、紅白に分かれての応援合戦や綱引き、リレーといった団体競技と、多くの方々から応援を頂きながら児童生徒みんなが力一杯に走って飛んで素晴らしい活躍を見せてくれました。

プログラムの最後には子ども達全員で心を合わせた鼓笛発表。キーボードやアルトサクソフに打楽器と子どもたちそれぞれが役割を担い、「水戸黄門のテーマ」「新時代」「夏祭り」「千本桜」「エルクンバンチェロ」の5曲を秋空一杯に響かせました。

参加した二十二名全員が最後まで自分の出せる全力を出して競技に臨み、思い出に残る素晴らしい体育祭となりました。



# 第五十八回関東少年文化祭



指導第一課 高木 淳一

今年の関東少年文化祭は、平成二十九年以来、六年ぶりに茨城学園が主催となり、十一月二十二日に常陸太田市民交流センターで開催しました。

また、コロナウィルス感染症が五類移行となり、日常生活が戻りつつある中で、四年ぶりに関東児童自立支援協議会の全十二施設が集まったの一日通しての開催、作品展示部門を加えての開催となりました。

この数年の間に学園職員の入替わりが多く、一日通しての文化祭を経験した職員も少ない中、先輩職員から多くのアドバイスを頂きながらの運営となりました。

ただ、インフルエンザやコロナウィルスの流行はまだ続いており、周りの学校の学級閉鎖や行事の延期などの知らせを聞く度に、全施設が当日無事に参加出来るのか、不安を抱えながら準備をすすめました。

文化祭当日は、天候に恵まれ、全ての施設が一堂に会して開催することが出来ました。開会式には、青少年家庭課の今泉課長にご臨席を賜り、ご挨拶をいただきました。

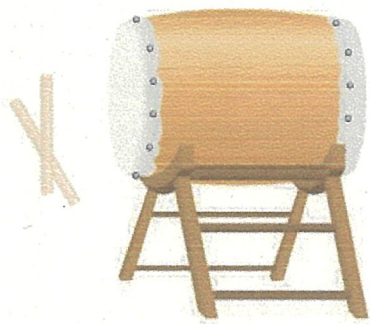
約四五〇名が集まった会場を見ると、大人数の前で発表することが出来て、本当に良かったと感じました。

そんな大人数の観客を目の前にして、発表前の舞台袖では緊張の表情を見せ、先生方から励ましの言葉を受けていた子ども達が、いざ幕が開いて発表が始まると、生き生きと演奏をしている姿を見せてくれました。ここに至るまでに、練習の中で先生方が真剣に関わり、それにも子ども達が一生懸命応えた結果だと感じました。また、発表後に「たくさん人がいて緊張したけど、楽しかった。」と話した子がいて、本当に良い経験になったことを実感しました。

茨城学園では、体育祭の終了後から分教室の三田寺先生のご指導の下、音楽の時間や放課後に練習を積み重ねました。「水戸黄門」・「夏祭り」・「アメイジング・グレイス」・「ウイリアム・テル序曲」の素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

また、作品展示においては、齋藤先生のご指導の下、授業中に作成した作品を展示しました。どの作品もそれぞれの個性が感じられる作品でした。お互いの作品を鑑賞すること、他施設がどんな取り組みをしているのかを知る良い機会でした。

最後になりましたが、練習から本番まで支えて下さった分教室の先生方、ありがとうございました。



## 卓球大会



指導第一課 黒沢 悠人

今年度の関東少年卓球大会は、コロナウイルスが感染症第五類に引き下げられてから、初の大会となりました。子どもたちは会場ではマスクを外し、伸び伸びと卓球に打ち込むことができ、さらには大きな声で応援するといった姿が目立つ活気のある大会でした。

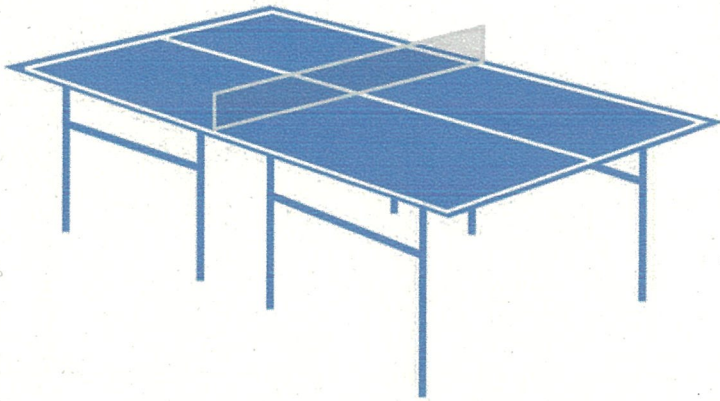
卓球部活動としての締めくくりとなる本大会は、十二月七日に実施されました。会場は神奈川県横浜武道館と、まだ暗いうちからの出発でしたが、気合い十分、子ども達が最高のパフォーマンスを發揮しました。

午前の団体戦では、男女別の四から五施設におけるリーグ方式の総当たり戦で、上位二チームがノックアウト方式のトーメントに進み、優勝校を決めるといったものです。本校の結果は、男子がリーグ四位、女子がリーグ三位と健闘しましたが、惜しくも予選敗退。結果こそついてきませんでしたが、子ども達それぞれが粘り強いラリーを続け、練習の成果を存分に活かすことができました。団体戦に出場する選手、出場しない選手に関わらず、自らの試合だけでなく、仲間の試合を全力で応援する姿からは、茨城学園としての一体感が見えました。

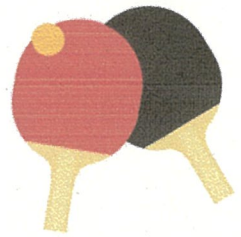
午後の個人戦では、参加児童十一名の全児童が参加しています。試合は一斉に始まり、一回戦は応援の少ない試合となりましたが、相手に集中しながら臨めました。試合前後には丁寧な挨拶ができ、相手への尊敬の意を表しながらの試合ができ、心身ともに成長できたなど実感しております。試合後は、団体戦同様に、仲間の試合に駆け寄り、熱のこもった応援ができています。

本大会では、キャプテンを中心に各寮の中学生が率先して動き、小学生はそのような中学生に迷惑をかけまいと気にする姿が印象的な大会でした。試合の緊張感、押し潰されそうな心、仲間を思う気持ち、今までにない新たな経験がそこにはあったように感じました。

最後になりましたが、卓球部の活動を前向きに協力してくださった分教室の諸先生方、多方面から支えてくださった寮職員の皆様に、この場を借りて深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



## 卓球部



卓球部監督 小澤 博之

今年度も野球部、水泳部が終わり、卓球部の季節になりました。今年の卓球部は茨城開催の関東少年文化祭に向けたコンサート練習「音楽部」と並行して練習を積み重ねていきました。今年は監督のもとに十五枚の入部届が届きました。「部活に参加できる寮生活・学校生活をすする」「少ない練習、一日一日の練習を大切に取組む」という目標を達成し、最後までやり切った児童は十一名となりました。昨年度の卓球部を経験していた部員は四名で、残りの七名はラケットの持ち方もままならず、練習で行う反復横跳びもリズムよくできないレベルでのスタートでした。音楽部を優先する週もあり、週に一度や二度の卓球活動は気持ちの切り替えや練習への集中等に精神力が必要だったと感じます。そのような練習環境の中でも、中二キャプテンを中心に部員一人一人が準備から片付けまでを集中して行い、一日一日、一球一球にひたむきに取り組み、技術を向上させていきました。

今年度の卓球部も関東少年卓球大会参加を目指して行いました。大会に向けての練習ではダブルスの組み合わせを検討することに苦慮しましたが、男子は小5のコンビが、女子は中一コンビが快く監督の選択を受け入れ、難しい練習にもチャレンジし、コンビネーションを磨いていきました。

男子の部員は北関東の三施設（那須学園・ぐんま学園）那須学園で開催された練習試合にも参加し、中三部員がいる他施設に体格差で圧倒されながらも、本大会に向けての貴重な経験になりました。このような練習を積み重ね、本大会では参加部員の全員が健闘する姿を職員、他施設へ見せてくれ、女子シングルスでは見事にベスト8に入賞する部員もあり、練習の成果、努力の成果を体現する大会となりました。

卓球部を通じて、技術だけではなく、挨拶や礼儀、周囲への感謝など、多くの学びを得て、大きな大会を通じ、「部活動をやり切った」「大会で結果が残せた」という達成感を感じられたことと思います。この経験を活かして、今後の学園生活に活かしてくれることを願っています。今年度も関東少年卓球大会に出場し、大きな体育館での試合を経験する部員がいることでしょう。今年度の卓球部は終わったばかりですが、これからの学園生活、次年度の卓球部活動、大会参加とすでに部員たちの今後の活躍が楽しみです。

令和5年度卓球部への応援、ご協力、ありがとうございました。

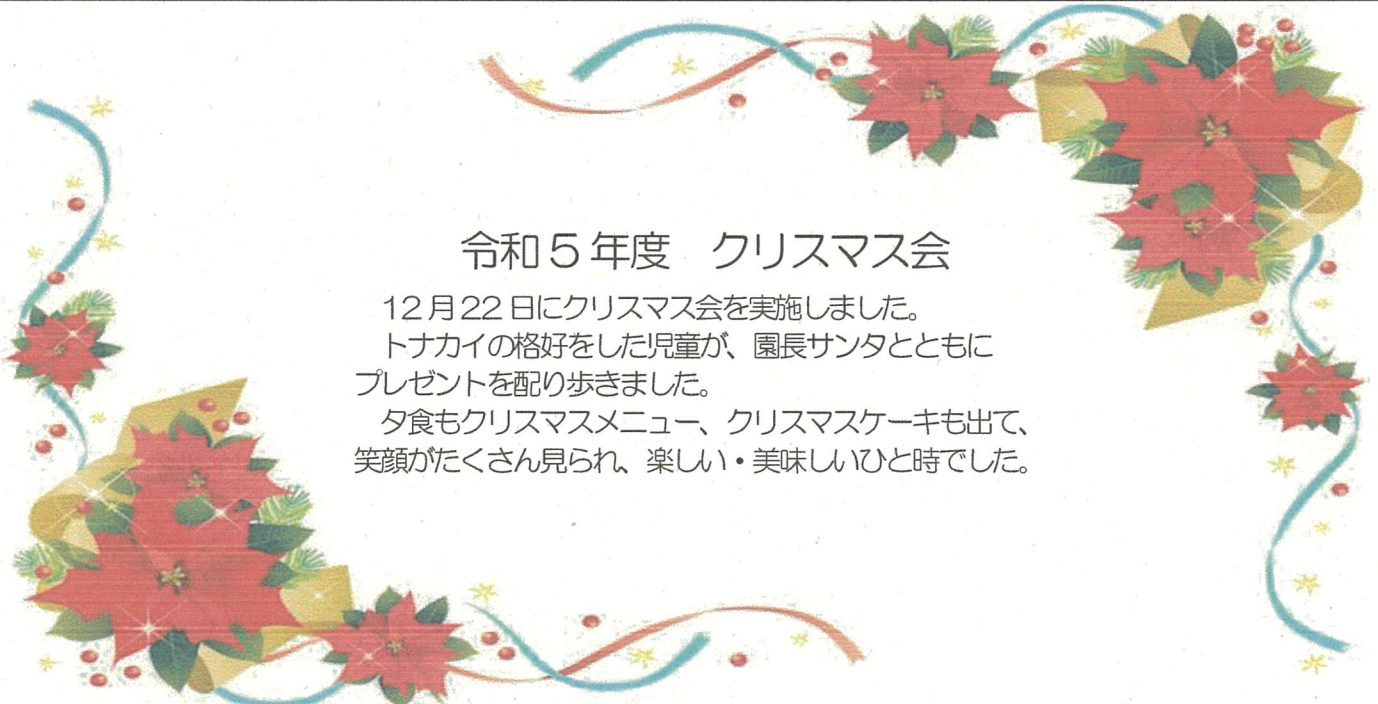
### キャプテンコメント

(卓球部振り返りの作文から抜粋)

キャプテンをやり遂げてよかった。競り負けた試合は残念でしたが、大会に出るために準備をしてくれた監督や先生に感謝を持って今後の生活に生かしていきたい。中三生になっても頑張っていきたいです。(中二 K・T)

## 令和5年度 クリスマス会

12月22日にクリスマス会を実施しました。  
トナカイの格好をした児童が、園長サンタとともにプレゼントを配り歩きました。  
夕食もクリスマスメニュー、クリスマスケーキも出て、笑顔がたくさん見られ、楽しい・美味しいひと時でした。



# 秋の句会



紅葉が綺麗な季節になり、今年も秋の句会が開催されました。俳句を作ることにより言葉に関心を持ち、言語感覚を養うこと、お互いの作品の良さを認め合い相手を尊重する気持ちを育むことを目的として行われています。今年も秋の季節に関する句、学園生活の中で感じること、自分が頑張っていることをテーマとして思い思いの一句をよんでくれました。  
子どもそれぞれの個性が出た素晴らしい作品ばかりで、楽しく秋を感じることが出来ました。  
児童の作品を、園長のコメントとともに紹介します。

## 中学生の部 最優秀賞

マラソン後 見上げる空に イワシ雲

イワシ雲は風か何かの前触れですか。(園長)

## 小学生の部 最優秀賞

遊んでる ぼくのとなりで 赤トンボ

ついに赤とんぼを発見したのですね。良かったです。(園長)

## 中学生の部 優秀賞

名月や 故郷を思う この日かな

この日があるから、その日があるのだ。(園長)

帰り道 歩を進めれば 金木星

食欲の秋、香りは料理をワンランクアップ。(園長)

## 小学生の部 優秀賞

いい色だ 干し柿にして 食べようか

甘い干し柿美味しいね。いい色ってどんな色だったのかな。(園長)

お月様 光るまん丸 綺麗なな

そうそう、実は地球も丸いのですよ。(園長)

## みんなの俳句



銀杏散る 寂しからずや あぢきなし  
白露降る 温もり恋し 丸くなる  
十五夜 かがやく月が 笑ってる  
お月見だ うさぎもちつき ファイトです  
しけつとる かきうまそうだ でもくえん  
みあげる空 お月見日よりの 天気だなあ  
夜寒く 月を見上げて 泣く人よ  
マラソンや とんぼあたりて かおいたし  
紅葉落ち 君は明日には 来るのかな  
持久走 人に抜かされ やんぬるかな  
ぶどうがり みんなで楽しもう 秋の行事  
茨学は トンボが増える 秋なのだ  
トンボさん いっぱいいるよう 可愛いよ

### 三学期の行事予定

|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 一月 九日  | 三学期始業式<br>百人一首大会           |
| 二月二十八日 | 茨城県立高校入学試験                 |
| 三月五日   | 園内駅伝大会                     |
| 三月十二日  | 茨城県立高校合格発表                 |
| 三月十二日  | 那珂第一中学校分教室・<br>五台小学校分教室卒業式 |
| 三月二十二日 | 修了式                        |
| 三月三十一日 | 離任式                        |

来年も、沢山の行事を通して子供たちの活躍や成長した姿をお届けできればと思います。

引き続き、ご支援・ご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

広報委員会一同

